

国連ユースボランティアプログラム

※ 2024 年度実施分の募集は終了しています

(2025 年度の募集情報は 2025 年 2 月頃に当該科目の募集サイト(後述)に公開予定)

〈概要〉

- ・国連機関である国連ボランティア計画と国内 4 大学の連携により, 開発途上国の国連諸機関で約 5 か月間学生ボランティアとして活動
- ・国連事務所等に派遣され, 各機関のスタッフや現地の方々とともに業務に従事
- ・異なる環境で生活する人々との協働経験
- ・教育・環境・人権擁護・保健衛生等の分野で, プロジェクト運営支援や広報活動業務, 各種調査等の活動に携わる

〈目的〉

- ・国際協力の経験を積みグローバル人材として必要なスキルを身に付ける
- ・グローバルな問題の本質に迫る知識と視野を身に付ける

【募集サイト】 申込方法等の募集情報詳細は下記のサイトに掲載

<https://spirit.rikkyo.ac.jp/ghrd/unyv/SitePages/index.aspx>

〈選考／派遣に関するスケジュール〉

前年度 3 月中旬	申込締切
前年度 3 月中下旬	学内選考(書類選考・オンライン面接選考)
3 月下旬	本学推薦者決定 ※自己都合による辞退は原則認めない
4 月～6 月中旬	国連による選考(書類選考・オンライン面接選考)
6 月	最終合格者決定
7 月	学内事前研修
8 月	最終合格者対象の派遣事前研修(集中講義) ※計 10 日間程度
9 月～2025 年 2 月	現地ボランティア活動
3 月	帰国報告会

〈履修資格〉

- ① 学部学生 2～4 年次生であること。
- ② 2024 年度春学期および秋学期ともに在学していること(休学する者は参加不可)。
- ③ 2024 年 9 月 1 日時点で, 満 20 歳以上 26 歳未満かつ心身ともに健康であること。
- ④ 次のいずれか一つの英語能力を満たしていること(英語能力証明書類のコピーを提出すること)。
TOEFL® ITP500 点, TOEFL® iBT61 点, TOEIC® 590 点, IELTS 5.0 点
ただし, 上記点数を満たすだけでなく, 業務遂行に必要な高い英語力を有することが求められる。

- ⑤ 開発途上国へ2週間以上の渡航経験を持つことが望ましい(必須ではない)。
- ⑥ ボランティア経験があることが望ましい(必須ではない)。
- ⑦ 円滑に共同作業ができること。
- ⑧ 基本的なICTスキル(Word/Excel/Power Point)を有すること。
- ⑨ 全学共通科目言語必修科目に未修得の単位がある場合、申請を認めない。

※国籍不問。ただし、適切な安全管理を行うため、コンソーシアム共通で実施する事前研修等日本語で行われる講義および日本語の資料を理解し、円滑な意思疎通ができる日本語力を有することを求める。

〈履修登録に関する事項〉

- ・国連による最終選考に合格し派遣が決定した学生には、秋学期他科目として大学が「その他」登録を行う。派遣決定後に改めて本科目に関する履修登録申請手続きをする必要はないが、各自必ず当該学期の履修登録状況画面で登録された旨を確認すること。
- ・本科目が履修登録される学期には、他科目の履修はできない。通年科目を履修している場合、その科目は履修中止扱いとなり、成績評価は「Q」と表示され単位修得できない。
- ・本科目を履修する場合、当該秋学期における全学共通科目総合系科目の履修登録上限単位数は特例として12単位とする。

〈成績〉

本科目の成績は「合格」または「不合格」とする。

〈留意事項〉

- ・事前研修、帰国報告会は参加必須。
- ・査証取得、渡航準備、宿泊先手配など当活動に参加するにあたり必要な手続きは国連ボランティア計画の協力のもと派遣者個人の責任で行う。
- ・派遣決定後であっても、必要な査証が取得できなかった場合は当該派遣先への派遣はできない。
- ・最終合格後および派遣後であっても、国際情勢や現地事情の変化等の事由により派遣中止や途中帰国となる場合がある。現地渡航判断は、所定の判断基準に従い国連ボランティア計画および立教大学が行う。詳細は募集要項で確認のこと。
- ・本プログラムの派遣にかかる費用は、一部参加者の自己負担が求められる費用を除き、UNVを介して立教大学の資金により賄われる。このことを理解し、立教生として責任を持ってプログラムに参加し、プログラムの参加中、参加後(在学中および卒業後)において本プログラムの広報活動等に積極的に協力すること。

〈備考〉

- ・派遣国:開発途上国各国(アジア・中南米・アフリカ・大洋州など。毎年度変更あり)
- ・派遣先機関・業務内容:国連による選考開始前に「業務指示書」にて提示。

[派遣先過去実績] UNHCR(国連難民高等弁務官事務所), UNDP(国連開発計画), UN Women, UNV(国連ボランティア計画), IOM(国際移住機関), FAO(国連食糧農業機関), UNICEF(国連児童基金)等

- ・本科目に関する詳細はプログラム募集サイトおよび募集要項を必ず確認すること。
- ・グローバル教育センターHP: <https://ghrd.rikkyo.ac.jp/>

以上

